

日本のものづくりを東南アジアに売り込む ～METALEX2013 と自治体の活動～

「METALEX」はアセアン地域最大規模の金属加工機器、工作機械を対象とする見本市です。大田区産業振興協会の活動支援のため参加する機会を得ましたので、同見本市について報告いたします。

■METALEX とは

1987年から年1回タイ・バンコクにおいて開催されている金属加工、工作機械のアセアン最大の見本市です。高精度の機械・設備・部品等が世界各国から出展され、情報収集、販売代理店の発掘、共同出資者探し、販路開拓等の場として活用されています。タイでは、進出した日系企業が自動車、家電等製造業の発展を牽引してきましたが、近年ではタイに市場を求める多くの日本企業が「METALEX」に出展しています。日本貿易振興機構（JETRO）は2009年から「ジャパンパビリオン」を設けていますが、出展希望者が大変多いため、全ての希望者が出展できない状況となっています。また単独ブースの出展予約は、前年までに行う必要があるとのこと。

■大田区と METALEX

大田区産業振興協会は区内企業の販路拡大を支援するため、各国の展示会に参加していますが、タイには日系企業が多数進出していることから2002年から「METALEX」に出展を始めました。12回目の出展となる今年は、既にタイに進出済みの企業を含む6社が出展しました。進出済みの企業は会場における商談が現実化する可能性がより高いとのこと。また、会期中にタイ投資委員会（BUILD）と共催で「タイ・大田区ビジネスマッチング」を実施し、区内企業13社とタイの企業との商談の機会を設けました。

今年はオオタ・テクノパーク第3期工場棟が完成し、大田区企業9社が稼働しています。より高度化するタイの製造業を支える拠点として、大田区の本拠地と連携し、幅広い高度な技術を提供することが期待されています。

■多くの自治体が参加

2005、2006年にも出展した岐阜県産業経済振興センターは、今年から単独ブースを設けて出展を再開しました。同ブースでは、県内企業4社が出展しました。県内企業の多くが東南アジア、特にタイに関心を寄せていることから、今後も出展を継続していきたいとのこと。

JETROの「ジャパンパビリオン」に出展していた群馬県、徳島県のほか、大阪府・大阪産業振興機構共同で単独ブースが設置されるなど、「METALEX」初参加の自治体も目立ちました。

■効果的な見本市・展示会とするために

長年に渡り多くの見本市・展示会に参加している大田区産業振興協会の担当者に効果的な出展のコツを伺ったところ、商談に結びつく相手に来場してもらうためには、事前の広

報が非常に重要とのことでした。大田区産業振興協会では、協会のホームページで出展企業について告知したほか、タイの日系ビジネス情報誌に今回の出展概要、協会としてのねらい等を掲載しました。また、出展企業からタイの取引先等に発送できるよう事前に招待状を配布しました。「METALEX」は広大な会場で開催され、出展企業も約 2,700 社にもものぼります。この規模の中、より可能性の高い相手との商談を実現するためには、事前にできる限り準備をしておくことが成功の秘訣のようです。



【国別パビリオン（イギリス・韓国）】



【大田区のブース】



【JETRO パビリオン】

■METALEX 2013 概要

会期	2013年11月20日（水）～23日（土）
会場	タイ・バンコク国際展示場（BITEC）
主催	Reed Tradex
来場者数	約 68,000 人（見込）
出展団体数	約 2,700 団体
日本からの出展自治体・団体	大田区（公益財団法人大田区産業振興協会） 品川区 岐阜県産業経済振興センター 大阪産業振興機構 【JETRO Japan Pavilion 内】 燕三条地場産業振興センター、群馬県、石川県鉄工機電協会、埼玉県産業振興公社、神奈川県産業振興センター、とくしま産業振興機構
参加国	約 50 カ国
国別パビリオン（7カ国）	日本・韓国・シンガポール・台湾・中国・イギリス・ドイツ

（新山所長補佐 東京都大田区派遣）